

(シラバスNo.17)

科目名	教育学特論	科目コード	24P-D1	
		科目群名	専門科目 (D群)	
	Special Topics in Education	必修/選択	選択	
		教職	小・中・高	
担当教員	北村 克久	単位数	2	

【授業概要】

最新の教育の方向に焦点を当て、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の学習指導要領総則の趣旨を受けて、教育現場の現状と課題について議論を行います。特に、児童・生徒の視点から教育課程を捉え、各学校の取組がどのように実施されているかを探求します。

これまで、幼児・児童・生徒の立場で受けてきた教育及び教育制度を想起し、未来の教育に向けて「行きたくなる学校」「楽しい授業」「社会に開かれた教育課程」「児童・生徒のための教育評価」「学習指導要領の大綱化・弾力化」「エージェンシーを育む」等をキーワードとし、横浜市の教育現場で活躍した実績を基に成果や課題について議論します。

【授業の到達目標】

- 1 理解の深化:
現行学習指導要領が目指す方向について深く理解できる。
- 2 教育課題と方向性:
現代社会の教育課題と文科省の施策や学校現場での取り組みについて理解し、教育の未来について論述できる。
- 3 共生社会の理解と政策提案:
共生社会における教育の意義について理解し、共生社会のあるべき姿を描くことができ、それに資する教育政策を具体的に立案することができる。

【授業の形態】

メディア授業の実施【あり】

<授業の特徴> (毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください)

形態	実施	具体的に実施すること
講義	○	教員の研究成果について講義
グループワーク・質疑	◎	受講者間の議論を行うと共に、疑問がある都度で質問できる。
演習	○	課題を受け、自らの考えを整理する。
プレゼンテーション	◎	考えた結果を発表する。
制作		
その他 (省察の提出)	◎	授業概要を振り返り、自らに生かせる部分を明確にする。

【授業計画】

回	内 容
1	オリエンテーション
2	教育課程と教師
3	教育課程と OECD 提唱の教育の未来
4	教育の潮流と横浜市の教育改革
5	社会に開かれた教育課程
6	幼児期の教育との接続
7	主体的・対話的で深い学び
8	総合的な学習の時間と学校の教育課程

9	道徳教育と教育課程の編成
10	特別活動の教育課程
11	情報メディアを生かした令和の「ICT 活用授業改革」
12	特別支援教育と教育課程
13	外国籍、外国につながる子供の指導と教育課程
14	カリキュラム・マネジメント
15	カリキュラム開発
試験	
<p>【履修上にあたっての準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修登録後、教科書には、必ず目を通して下さい。 ・本授業にあたって、これまで受けてきた教育について、児童・生徒、学生の視点から、批判的に考察するため、印象に残っている教育場면을思い起こしておいてください。 ・学校教育や教育課題について関心を持ち、課題等を主体的に発言する姿勢、課題に取り組む姿勢が必要です。 	
<p>【授業外学修（予習・復習）】</p> <p>1 予習 教科書等に基づいて授業が行われるため、学修効果を高められるよう、指定された講読の予習をしてください。</p> <p>2 復習 各週で振り返りシートを書いていただきます。振り返りシートの内容はご自身の積み上げになります。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>「授業内で課す発表・議論における取り組みと事前学修・振り返りの状況」（50%）、 「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価します。</p>	
<p>【教科書】</p> <p>北村克久編著(2024) 『教師を育てる教育課程』 星槎大学出版 ISBN 978-4-7740-8010-9</p>	
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29・30・31 年改訂 学習指導要領（本文・解説） https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm ・国立教育政策研究所教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html 	